

都道府県組合 優秀賞 群馬県遊技業協同組合

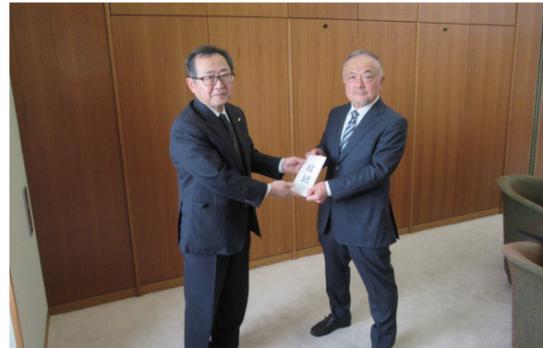
群馬県遊技業協同組合
理事長 森山秀夫さん

「能登半島地震義援金」事業

2024年元日に起きた能登半島地震では、想像を超える甚大な被害が出た。復興を支援するためにPOSCでもボランティア団体に対して特命助成を行ったが、群馬県遊技業協同組合でもいち早く支援を決定した。

能登半島地震の義援金として、2024年1月22日に地元紙の上毛新聞社に対して100万円を寄託した。この義援金は同組合の設立60周年を機に組合員から集められたもので、上毛新聞社で行われた寄贈式では、森山秀夫理事長から上毛新聞社社長に目録が手渡された。

社会貢献活動に積極的に取り組む同組合では、これまでも公益財団法人上毛新聞厚生福祉事業団の「愛の募金」などに継続的な寄付を行っている。



能登半島地震の義援金贈呈式

支部組合 優秀賞 古河遊技場組合 (茨城県遊技業協同組合)

古河遊技場組合
組合長 朴孝一さん

「茨城県古河市役所に対する防犯カメラの寄贈について」事業

犯罪や交通事故などを伝えるニュース映像などを見ても明らかなように、繁華街や道路に設置された防犯カメラは、もはや地域社会の安全・安心確保にとって欠かせないインフラとなっている。

遊技業界でも都道府県組合から組合員ホールレベルまで、その寄贈を行っているが、古河遊技場組合では2009年から毎年、茨城県古河市に対して防犯カメラの寄贈を続け、その数は2023年度で30基となった。

2023年度に寄贈された防犯カメラは古河市東牛谷の新幹線高架下、同市東山田の清水交差点の電柱に設置されたが、これまで同様、地域防犯活動、交通状況の把握、夜間の犯罪や青少年の徘徊抑止などに役立てられている。



古河市役所で行われた贈呈式

組合員ホール 優秀賞 埼玉県 産経商事株式会社

産経商事株式会社
代表取締役社長 高橋昭二さん

「産経商事(株)創業60周年」事業

埼玉県川口市に本社を置き、県内に4つの「ウイング」店を展開する産経商事株式会社は、日頃から地域貢献活動として近隣保育園へのクリスマスプレゼント、サッカーや空手などのスポーツ大会などを実施してきたが、創業60周年を機に活動の規模や対象範囲を広げることを決定した。

これまでに地元の社会人サッカーチームへのAED寄贈と普及イベントの実施、川口市とさいたま市の社会福祉協議会への福祉車両の寄贈、川口市の「美術品等取得基金」への500万円寄付、川口市と蕨市の卓球連盟を通じて中学校などに2万個のボール寄贈、ライブハウスでの高校生バンドのコンテスト開催などを行った。



創業60周年を機に様々な地域貢献活動を実施した

組合員ホール 優秀賞 神奈川県 株式会社千歳観光

株式会社千歳観光
代表取締役社長 共田幸弘さん

「千歳観光『SDGsプロジェクト』」事業

神奈川県横浜市に本社を置き、神奈川県、東京都に7店のホールを展開する株式会社千歳観光では、地域社会への貢献、業界全体のイメージ向上、お客様にもその大切さを知ってもらうことを目的に、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいる。

2023年10月には社内の14名のメンバーによる「SDGsプロジェクト」を発足し、全ホールスタッフを対象にしたSDGsの研修、SDGsバッジの着用などを行ったほか、小田原市の酒匂海岸清掃活動、能登半島地震や能登半島豪雨水害の災害復興募金、かながわトラストみどり財団主催の植林活動への参加、神奈川県発行のグリーンボンドへの投資などを実施した。



海岸清掃活動等、様々な活動を社員が主体となり実施